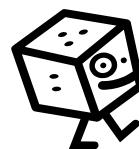


発行日：
2017年3月17日

明治学院大学心理学部 白金心理学会報

さいころ



第9号

2016-2017

白金心理学会イベント

- 2016年5月18日
第20回キャリア支援シリーズ
「第4回法務技官業務説明
会」開催
- 2016年6月25日
白金心理学会第9回大会：
総会、2015年度奨励費獲
得者研究成果報告、2016
年度奨励・活動費獲得者ポ
スター発表、シンポジウム
「心理学研究の変遷」、懇親
会 開催
- 2016年6月29日
在学生部会SC第21回キャ
リア支援シリーズ「大学院生
による院進学説明会2016」
開催
- 2016年10月12日
第22回キャリア支援シリーズ
「第5回法務技官業務説明
会」開催
- 2016年11月21日
在学生部会SC第23回キャ
リア支援シリーズ「キャリア支
援(ゼミ・授業・コース)相談
会」開催

目次：

会報第9号発行に寄せて	1
白金心理学会第10回記念大会のお知らせ	1
第9回大会報告	2
研究奨励事業報告	2
博士号取得者講演	3
シンポジウム「心理学研究の変遷」	3
在学生部会活動報告	4
さいころピック 感情状態と情報処理方略	5
新任教員のご紹介	6
事務局よりお知らせ	6

会報第9号発行に寄せて

花田 安弘 学会長(心理学部長)

皆様、こんにちは。さいころ第9号をお届けします。

昨年の8号のご挨拶では、心理学科に関する話題として、公認心理師法の成立と、それへの対応が必要であるというお話をしました。当初は昨年夏くらいには資格に必要な科目などのカリキュラムが決まるのではと言われておりましたが、この1月末になってもまだ決まっておられません。資格取得に必要な科目がはっきりしないとなかなか対応をすることが難しく、速やかな決定が望まれるところで。とりあえず心理学科としては、実習を増やす必要が確実にあるだろうとの予測に基づき、主にそれに対応するための助手の増員を決定しております。他大学に遅れを取らぬように、対処していくつもりであります。

教育発達学科は2016年度の2年次生からコース制になりました。児童発達コース、特別支援コース、国際教育コースの3コース

です。これは学生のニーズの多様化と現代の教育内容の広がりに対応するためであり、卒業後は、児童発達コースでは幼稚園や小学校教諭、特別支援コースでは特別支援学校教諭、国際教育コースでは教職以外に在日外国人子弟のための行政や福祉などの職が想定されております。このようなコース制により、学生諸君も早くから自分のキャリアを考えるきっかけとなると思われます。

心理学科、教育発達学科ともに、社会の変化に対応しつつ、発展するべく努力を重ねてまいりたいと思います。卒業生の皆様のみますのご支援をお願い致します。



花田 安弘先生

白金心理学会第10回記念大会のお知らせ

清水 良三先生(心理学科教授)

白金心理学会第10回大会が、2017年6月11日(日)に行われます。第9回大会は卒業生の皆さまに参加していただけるよう、土曜日に開催しましたが、やはり日曜がよいという意見も多かったため、日曜開催といたしました。

白金心理学会は10年を迎えます。これを記念した第10回記念大会として、二つの企画を立てております。一つは、白金心理学会創立のアイデアをお出しいただいた、創設時の学会長であります井上孝代先生と、初代白金心理学会実行委員長であります金子健先生をお招きしての対談企画「白金心理学会の10年とこれから」です。卒業生の皆さまの多数のご参加を願っております。

もうひとつは、法政大学教授で本学心理学科でも非常勤講師をしていただいている、犯罪心理学の泰斗であります越智啓太先生による記念講演「心理学で犯罪を捜査する～犯罪捜査心理学の最前線～」です。これまで白金

心理学会では希望する企画についてアンケートにご協力いただきましたが、その中で卒業生や在学生からのリクエストが多かった「犯罪の心理」についての講演が、越智先生のご快諾により今回実現することになりました。また研究奨励の発表もあります。

卒業生の皆さま、在学生のみなさん、たくさんのご参加を期待しております。そして井上先生、金子先生、講師の越智先生を囲んでの懇親会だけでも結構ですので、どうぞ奮ってご参加ください。



懇親会の様子

第9回大会報告

清水 良三先生(心理学科教授)

第20回キャリア支援シリーズ
「第4回法務技官業務説明会」

17名の参加があり、説明会中ほとんどの学生がメモを取りながら真剣に聞いていました。説明会は、パワーポイントを使用して、参加者が画面を見ながら説明を聞く形で行われました。更生施設の説明、そこで働く職員のこと、職員の仕事の流れ、職員を目指す方法…など、写真を豊富に使用し、分かりやすく説明をしていただきました。

第21回キャリア支援シリーズ
「大学院生による院進学説明会2016」

説明会は、2部構成で行いました。第1部の全体説明会は、各コースごとの内容説明や授業内容、普段の院生活について説明を行い、第2部の個別相談会は、各ゼミに分かれて、参加者から個別に質問や相談を受け付け、大学院生が質問に直接答えました。大学院説明会に興味のある学生が多く、40名近い参加者が来場し、予想以上の盛況ぶりでした。

第22回キャリア支援シリーズ
「第5回法務技官業務説明会」

説明会の内容は主に法務技官の職務内容、一日の仕事の流れを配属先(少年鑑別所・少年院・刑務所)ごとに写真を用いて分かりやすく説明して頂きました。今回は11月11日に締め切りとなるインターンの募集のお知らせがメインでしたが、法務技官の福利厚生の良いさをアピールされ、学生も興味を示していました。

第23回キャリア支援シリーズ
「キャリア支援(ゼミ・授業・コース)相談会」

教育発達学科40名、心理学科38名参加と大盛況となった今イベントでは1年生の参加は少なかったものの、ゼミ選択の時期とも重なり、2年生は複数のゼミの話を求めて参加していました。ゼミごとにブースを設け、自由に行き来することが出来て、とても良かったという声が上がっており、他にも、とても参考になったので来年度もぜひこのような会を開催してほしいとの要望も多数ありました。

白金心理学会第9回大会は、2016年6月25日(土)に行われました。

今回の第9回大会は、久しぶりに土曜日開催となりました。学部の土曜午後の授業がごく一部となったことと、土曜日の方が卒業生の方も多く参加していただけるのではないかと期待を込めてのことでした。また、卒業生の方に役に立ち、興味を持っておいでいただける企画、そして在学生にも役立つ企画を考えました。その結果、卒業生になじみのある旧教員をお招きし、心理学科創立当初から最近の卒論のテーマの変遷をみることで、心理学のトピックがどう展開してきているのか、学生の関心領域がどのように変化してきたかを話題提供していただくことにしました。

総会の後、メイン企画が始まりました。

心理学科創立当初の教員で、現在は上智大学教授の道又爾先生、心理学科第一期生で、現在専修大学教授ならびに本学心理学科の非常勤講師をなさっている大久保街亜先生、そして心理学部長の花田安弘教授の3人によるシンポジウム「心理学研究の変遷」です。

道又先生は、懐かしい心理学科一期生をはじめ心理学科創立初期の学生の写真を交えながら、最近の心理

学トピックをお話し下さいました。花田先生は、卒論の執筆人数の変遷データをもとに、学生の関心の変化についてお話し下さいました。大久保先生は、フロアにいる卒業生や、学生に質問を投げかけ、発言を引き出すという双方向の授業さながらのスタイルで、参加学生の心理学への学習意欲を引き出してくださいました。

その他、研究奨励、活動奨励の報告、ティーブレイクにはそのポスター発表も行われ、質問も多く、大変にぎわいを見せました。

懇親会はパレットゾーンでおこないました。広すぎるかと心配しましたが、適度な空間で、皆さんゆったりと交流していただけたようです。

御登壇いただいた皆さまはじめ、準備や運営をしてくれた事務局と学生会(SC)のみなさん、ありがとうございました。



ティーブレイクの様子

研究奨励事業報告

松永 あけみ先生(教育発達学科教授)

白金心理学会第9回大会において、研究成果報告および活動報告がなされました。

1. 2015年度研究奨励費獲得者による研究成果報告

博士後期課程5年の錦木眞喜子さん他卒業生1名による「低出生体重児の発達と気質の特徴および育児ストレスとの関連についての検討」、博士後期課程3年の石田航さん他前期課程院生2名による「1度きりの研修会が高校生の被援助志向性に与える影響－研修会プログラムの作成と成果の検討－」、心理学科4年の福土佳純さんを代表として4年生、卒業生、臨床心理学コース院生を含む他27名による「精神保健ボランティア経験による心理的变化」の3件について、研究代表者を中心に研究成果の報告がなされました。これらの研究成果は学会HPにて要旨を公開する予定ですので、是非、ご覧下さい。

2. 2015年度活動奨励費獲得者による活動報告

心理学科3年の天本夏美さん他4名による「明学生の通学マナー ～実態調査と意識調査～」では、明学1、2年生は広がっての歩き、歩きスマホなどの行動を迷惑だと認知しながら行っていることなどが報告されました。心理学科2年生の伊東綾香さん他6名による「Twitter使用におけるの標語作成」では、数種の標語から良いと思う標語を明学生に選択してもらい、「ネットの中にも礼儀あり」など周囲への気遣いを推奨した標語が選択されたことなどが報告されました。心理学科2年の松田美鈴さん他5名による「人はどういう人を好印象に思うか」では、文献研究を基に『就活に挑む女子大生へ！振る舞いや所

作の印象』というパンフレットを作成しました。心理学科3年の祖山涼香さん他1名の「心理学部生の抑うつと横浜キャンパスでの気晴らし行動の関連性」では、明学生への質問紙調査から、抑うつと気晴らし行動の頻度とは関連性はなく、主観的効果と低い負の相関が見いだされることが報告されました。

3. 2016年度奨励費獲得者の発表

研究奨励費として採択された研究は、博士前期課程1年の鈴木雄大さん他2名による「視覚的な運動および注意力と思考抑制の関連について」です。

2016年度の応募は、残念ながら研究奨励費1件のみで、活動奨励費への応募はありませんでした。皆様の積極的なご応募をお待ちしております。



研究奨励費獲得者による研究成果報告の様子

大学院心理学研究科博士後期課程 博士号取得者講演

社会的促進及び抑制の発生機序の解明と理論構築 —Zajonc 動因説を越えて—

請園 正敏

たとえば、家にいて一人で仕事をしていると
渉らないのに、他人がいるカフェで仕事をする
と渉るということを経験したことがないだろう
か。このような他者が存在することによって課
題の遂行が促進される現象を社会的促進、逆に
抑制される現象を社会的抑制と呼ぶ。社会的促
進および抑制は思考、感情、運動、記憶など
様々な心理現象において起きる一般的な現象で
あり、ヒトのみならず、ラット、鳥、ゴキブリ、
ハエなどのヒトから昆虫まで広くみられる現象
である。また、課題中の他者の存在のあり方が
二つに大別可能であり、一つは参加者自身が課
題を行っている最中に他者が見物人として存在
する状況でみられる「観察効果」、もう一つは
他者が参加者自身と同じ課題を同時に遂行す
る状況でみられる「共行動効果」である。本研
究では、社会的促進および抑制の生起プロセスを
説明する「動因説」の再構築を目指し、その発
生の脳内機序解明を目指した。

社会的促進および抑制は、他者の存在の知覚
を契機として発生する。動因説によれば、他者
の存在の知覚を通じて覚醒度が上昇し、その後
の課題遂行量に影響を与えると考えられてき

た。しかしながら、本研究の結果、どのよう
な要因であっても覚醒度が上昇した際に、他
者が存在することで、課題遂行量に促進効果
を与えることが示唆された。よって、覚醒度
に影響を与える文脈に、他者の存在が組み合わ
さることで社会的促進が生じると考えられ、動
因説を修正することができた。

さらに、脳内機序解明のため、ラットを用
いて社会的促進が生じる脳部位を検討した。
他者の存在の知覚を契機として発生すると考
えられているが、観察効果と共行動効果では、
他者の存在のあり方が異なっており、脳内で
主要な部位が異なると考えられる。よって、
心の理論と深い関係がある「前部帯状回」を
損傷させ、観察効果と共行動効果が生じるか
をそれぞれ検討したところ、観察効果は消失
し、共行動効果は出現した。このことから、
見た目では、同様の促進、または抑制効果を
示していた、両効果は脳内では異なる部位に
よって支えられていることが示された。よっ
て、動因説における両効果が同列に扱われて
いた点の修正を行うことができた。



請園 正敏さん



講演の様子

シンポジウム「心理学研究の変遷」

花田 安弘 学会長(心理学部長)

最初に花田から、登壇者である道又爾上智
大学教授と大久保街亜専修大学教授と私の紹
介があり、今回はこれまでの心理学科の卒業
論文のうち主に基礎系の論文を中心に心理学
研究の変遷について、道又先生と私からお話
しし、臨床系や教育発達学科の卒業論文につ
いてはまた別の機会とする旨の案内があっ
た。その後、心理学科一期生の大久保先生に
司会をお願いし、シンポジウムを開始した。

大久保先生からは、この会のメンバーに
とって関わりが最も深い研究は卒業研究なの
で、心理学科の卒業研究について学科発足当
時の教員である道又先生から90年代の卒業
研究について、そして現在の心理学科教授で
ある花田から最近の卒業研究について紹介し
ていただくこと、卒業研究にとって重要な
のは、新しい問題を提起しそれへの解答を示し、
その解答により新しい世界を見せることであ
り、卒業論文に取り組む経験は社会に出てか
らも役に立つはずであること、が話された。

続いて道又先生より、創設期の心理学科の
様子や卒業研究について紹介があった。道又
先生は1990年の心理学科創設から199
8年まで心理学科教員として在籍していたこ
と、初期は前例がないので何でも自分たちで
考え作っていったこと、若手の教員は自分一
人で仕事が多く大変だったが、反面楽しいこ
とも多かったこと、初期の卒論の例として、
和音プライミングをテーマにしたユニークな
研究などが紹介された。実験室も設立当初は
全くなく、実験には苦労が多かったが、学生
数が少なく学生と距離が近かったこと、大久
保街亜さんを始め、良い学生に恵まれたこと
が良かったとのことであった。

花田からは、まず卒論提出率について紹介
があり、しばらく40%前後が続き、200
6年ころから20%台にさがり、教員に危機
感が生じて対応策を検討し、2013年から
要旨集を作り全学年に配って1、2年生に先
輩の卒論の内容を紹介し興味を持ってもら



道又 爾先生



大久保 街亜先生



花田 安弘先生



懐かしい写真で振り返る



シンポジウムの和やかな様子



フロアで直接意見を伺う様子

試みを始めて、その効果が最近では提出率が4割近くに回復してきたことが紹介された。最近の基礎系の実験としては、認知心理学分野での視線計測装置を使った、視線のカスケード現象についての卒論や、生理心理学分野での、ラットを用いた海馬誘発電位の振幅と海馬シータ波の位相の関連についての卒論などが紹介された。視線のカスケード現象に関する卒論は、その後学会発表され、学会誌にも掲載された。卒論の内容が学会誌に掲載されたのは心理学科で初めてのことと思われる。

以上2名の発表の後、大久保先生がフロアの見聞を伺ったところ、在学生からは卒論を書きたいと思うが、就活もあり書けるかどうか不安もある、という意見があった。それに対し金子先生から不安になるのは分かるがそれに立ち向かうバイタリティが欲しいというご意見があった。登壇者から、卒論に取り組



卒論提出率の推移

むことは大変ではあるが、やり遂げることにより自分に自信を持てるし、自分の大学での勉強のまとめが形になること、テーマの選定から実験や調査の準備、実施、データの分析、全体の構成を考え執筆、という過程を経験することは、社会に出てからも必ず役に立つことであり、多くの学生さんが卒論に取り組むことを期待する発言があり、シンポジウムを終了した。

在学生部会活動報告

笠原 駿(在学生部会SC)

こんにちは、白金心理学会在学生部会SCです。2016年度の活動を報告します。

在学生部会では、心理学部生の支援を目的として、フレッシューズ研修と心理学科交流会、スポーツ交流会を毎年企画しているほか、今年度は新たな試みとしてキャリア支援(ゼミ・授業・コース)相談会を開催しました。また、院生SC主催の行事として院進学イベントを行いました。開催時期はフレッシューズ研修が4月、スポーツ交流会が5月、心理学科交流会と院進学イベントが6月、キャリア相談会が11月でした。

間もない時期のイベントということもあり、初めは皆緊張した様子でしたが、終わるころにはたくさんの笑顔が見られました。

次に行われたスポーツ交流会は教育発達学科の1年生を対象にしたイベントです。教育発達学科はもともと学科内の仲が非常に良いことで有名ですが、様々なスポーツを通じてその絆がより強固なものになったように思われます。

心理学科交流会は心理学科におけるスポーツ交流会です。例年はSCのみで運営を行ってききましたが、今年度は1年生の有志を募り、サブSCとして当日のサポートを行っていただきました。こちら1年生同士の中を深めることに貢献できた会となりました。

キャリア相談会は、ゼミに所属する3年生がゼミ選択を直前に控えた2年生の様々な質問に答えるという会です。当日は予想を大きく上回る学生が来場し、参加者にとつたアンケートでは満足したという声を多数聞くことが出来ました。

院生SC主催の院進学イベントは、院試説明会と個別相談会の2部構成で開催し、院進学を目指す学生の疑問や不安を解消できる会となりました。

今年度の活動内容は以上となりますが、来年度の活動はただ同じ内容を繰り返すのではなく、心理学を学ぶ学生のより一層の支援ができるよう精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしく願い致します。

SC活動一覧

4月	フレッシューズ研修(1年生)
5月	教育発達学科 スポーツ交流会(1年生)
6月	白金心理学会第9回大会 運営補佐 心理学科交流会(1年生) 第21回キャリア支援イベント 「大学院生による院進学説明会2016」(3、4年生)
11月	第23回キャリア支援シリーズ「キャリア支援(ゼミ・授業・コース)相談会」(1、2年生)



まず初めにフレッシューズ研修ですが、これは新しく入学した1年生を対象に、1年生同士で交流を深めるレクリエーション、学生生活についての説明やSCによる個別相談会などを行うイベントです。昨年度までは心理学科と教育発達学科の合同で開催してきましたが、今年度は学科ごとに違ったスタイルでの開催となりました。1年生にとっては入学して

さいころトピック

感情状態と情報処理方略

田中 知恵先生(心理学科教授)

こちらの内容
は学会費納入
の方のみ紙面
にてお送りして
おります。

参考文献



垣花 真一郎先生

新任教員のご紹介

垣花 真一郎 先生 2016年4月に教育発達学科に着任しました垣花真一郎（かきはなしんいちろう）です。専門は教育心理学・発達心理学です。幼児の読み書きの習得や、科学的な概念の学習を研究しています。学ぶこと、教えることは人間だけがもつ営みであり、人間の人間らしさの源泉です。よりよい教育とは何かを教育発達学科の学生の皆さんとともに探求していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

事務局よりお知らせ

○白金心理学会第10回記念大会のご案内

来る2017年6月11日（日）13:00から白金校舎において「白金心理学会第10回記念大会」を開催いたします。大会10回となる今年は創設時会長の井上先生、実行委員長の金子先生にお越し頂き、対談形式で創設時のお話をして頂きます。講演会では犯罪心理学の越智先生に「心理学で犯罪を捜査する～犯罪捜査心理学の最前線～」という興味深い講演をして頂きます。楽しみですね。当日は懇親会もごございますので、同期の仲間や先輩、後輩たちに会ういい機会になれば幸いです。皆様お誘いあわせの上、是非ご参加下さい。（大会・懇親会共に当日参加も可能ですが、資料、料理の手配の関係上、白金心理学会ホームページからの事前申し込みにご協力ください。なお、懇親会のみ有料です。）

○白金心理学会のホームページがリニューアルします！

2017年度より白金心理学会のホームページがリニューアルします。昨今のスマートフォンの普及を考慮し、スマートフォンでも見やすいようになりました。その他にも情報が瞬時に得られるように細部に渡って、分かりやすくバージョンアップ致します。是非、ご覧ください。

○教員からのお知らせ

2017年3月、川淵竜也先生（教育発達学科助手）、井陽介先生（教育発達学科助手）、杉山雅俊先生（発達教育学科助手）が退職されました。

尚、杉山雅俊先生（発達教育学科助手）は同学科助教になられます。

今年度のサバティカルは清水良三先生と野村信威先生と新井哲夫先生です。今年度は出校されませんので、ご注意下さい。

○卒業生のみならずへ 白金心理学会にご入会下さい！

すでに学部生および大学院生の皆様には入学・進学時にリーフレットを配布しご案内しておりますが、在学期間中は学会費として一人年間2000円をお預かりしております。

卒業生の皆様におかれましても、この機会に是非ご入会下さいようお願いいたします。

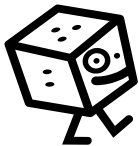
お預かりした会費は、次のような活動の費用に充てられます。

- ①心理学部(前身諸学科含む)卒業・修了生、教員、在学・在院生、との交流会の企画および運営
- ②在学・在院生、卒業・修了生のキャリア支援のためのイベント企画及び運営
- ③心理学部（前身諸学科含む）、心理学研究科名簿管理
- ④年次大会・総会開催、会報発行、講演会企画及び運営
- ⑤白金心理学会に関わる広報活動

ご不明な点は、白金心理学会事務局までご連絡ください。皆様のご入会をお待ちしております。

○卒業後の住所変更登録にご協力下さい！

卒業時から住所が変わっている方、また、ご実家の住所が変わっている方は、白金心理学会事務局にご一報ください。住所変更登録は白金心理学会ホームページ「卒業生へのお願い（連絡先変更登録）」ページで登録できます。ご協力をよろしくお願いいたします。



白金心理学会
イメージキャラクター
「さいころくん」

発行：
明治学院大学心理学部
白金心理学会 事務局

〒108-8636
東京都港区白金台1-2-37
明治学院大学11号館302号室

TEL & FAX:
03(5421)5814

問い合わせ用E-mail：
shinro@psy.meijigakuin.ac.jp

白金心理学会第10回記念
大会参加申し込み及び住所
変更は下記URLまで

URL: [http://
psy.meijigakuin.ac.jp/shiropsy/](http://psy.meijigakuin.ac.jp/shiropsy/)